

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学統計法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期 火曜1限	教室名	5校舎7階
担 当 教 員	湯谷菜王子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
統計学の基礎を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・授業態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
大川内隆明, 2022, 『解きながら学ぶ統計学 超入門』技術評論社. 喜岡恵子, 2021, 『Excelではじめる調査データ分析：企画から統計解析まで』オーム社.						
《授業外における学習方法》						
卒業論文でどのように研究するか結びつけて考えること。						
《履修に当たっての留意点》						
卒業論文で実際に使えるようになることを目指します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会調査の概要と調査の全体の流れについて理解する	喜岡(2021)1・2章	卒業論文と結びつけて考える	
		各コマにおける授業予定	調査とは、調査の企画			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの収集に関する事柄、統計で使われる基本的な数値を理解する	大川内(2022)3～5・8・9章 喜岡(2021)4～6・8章	卒業論文と結びつけて考える	
		各コマにおける授業予定	母集団と標本、データの収集、基本統計量			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	アンケート調査票を作成する際の注意点を理解する	喜岡(2021)3章	卒業論文と結びつけて考える	
		各コマにおける授業予定	質問票の作成			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	データを図表で表す方法について理解する	大川内(2022)3・4章 喜岡(2021)6・7章	卒業論文と結びつけて考える	
		各コマにおける授業予定	クロス集計表、度数分布表とヒストグラム			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計における確率の考え方を理解する	大川内(2022)7章 喜岡(2021)9章	卒業論文と結びつけて考える	
		各コマにおける授業予定	確率と期待値			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの相関について理解する	大川内(2022)10章	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	相関		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計を用いた推測の考え方を理解する	喜岡(2021)9章	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	推測統計		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	検定の目的と方法について理解する	喜岡(2021)10章	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	検定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	複数の変数からなるデータの分析について理解する	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	多変量解析		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を理解する①	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	因子分析・主成分分析①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を説明できる②	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	因子分析・主成分分析②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を調べ理解する①	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	回帰分析・ロジスティック分析①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を調べ説明できる②	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	回帰分析・ロジスティック分析②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査の仕方を理解できる	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	調査におけるルール		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	卒業論文に応用できる	レジюмеを重点的に用意	卒業論文と結びつけて考える
		各コマにおける授業予定	振り返りと総まとめ		